

令和4年度

JA きたみらい青年部・ホクレン意見交換会

資 料



- 各種資材の適正利用や取扱方法について  
(施設資材課・生産資材課・農機燃料自動車課・畜産生産課)
- 農作業安全に向けた取り組みについて (営農支援室)
- 意見交換会

令和4年6月23日(木) 17:00~

JA きたみらい会議室

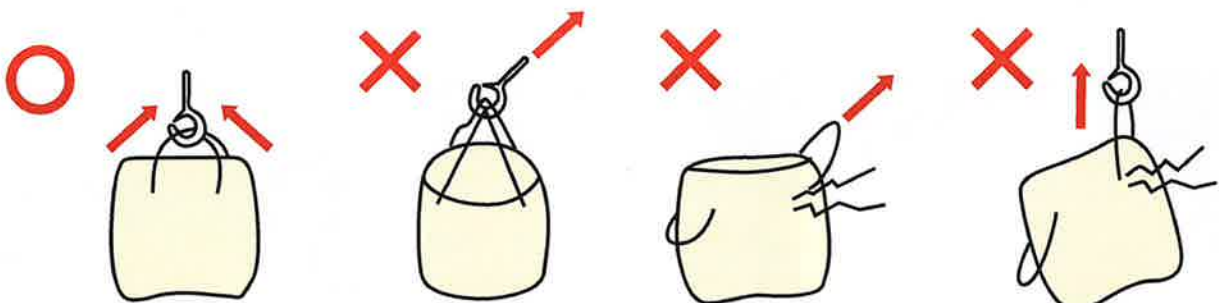
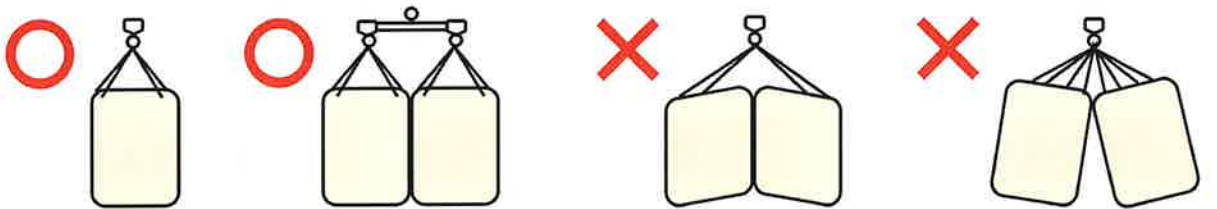
ホクレン農業協同組合連合会北見支所

# フレキシブルコンテナ

(取り扱い上の注意点について)

ホクレン北見支所 施設資材課

## 荷役作業

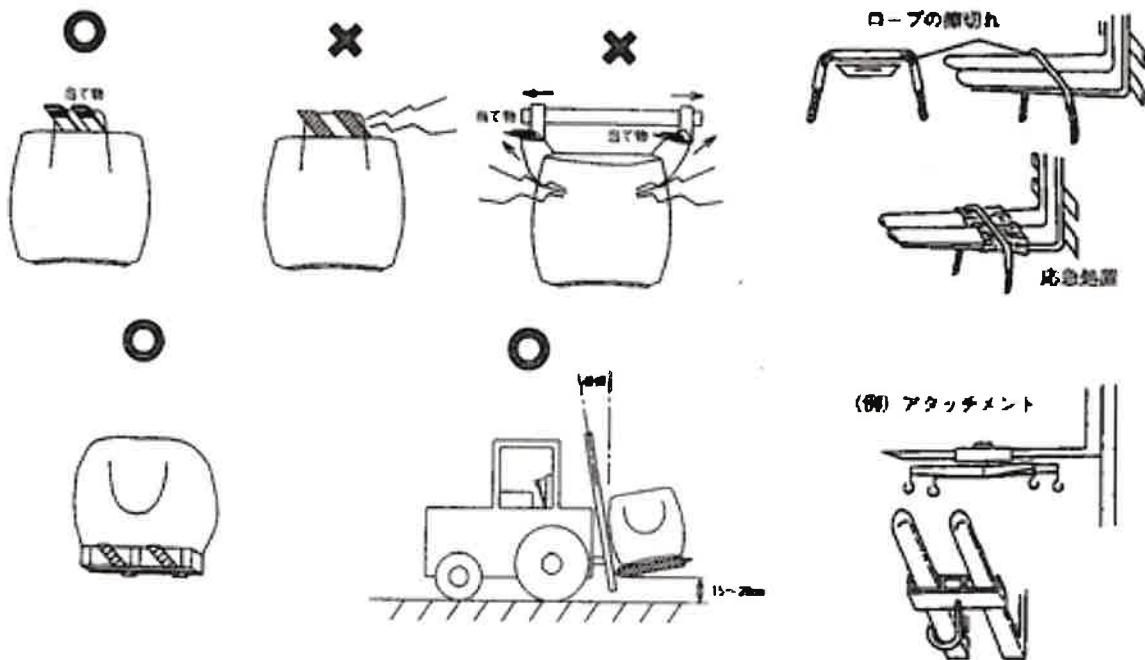


斜めつり・ロープの遊び

横引き

片つり

# フォークリフトでの作業時の注意①



## ご使用前の点検

### 重要点検部位

吊りベルト

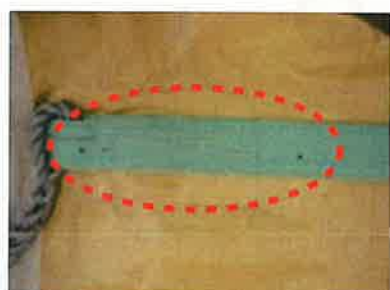
吊りベルト

吊りベルト

渡り部分

本体との縫製部分

ロープとベルトの  
結合部分



# ご使用前の点検

## 点検異常の例



縫製糸の切れ



つりベルトの切れ



接合部の異常と  
本体部の破れ

# フォークリフトでの作業時の注意②

## 片吊り状態



ベルト吊  
タイプ



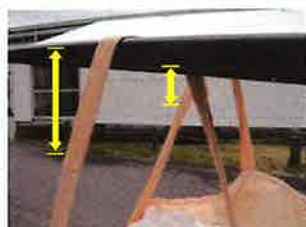
ロープ吊  
タイプ



## 吊りバランス不良



ベルト吊  
タイプ



ロープ吊  
タイプ



# フォークリフトでの作業時の注意③

## 吊り不良



ベルト吊  
タイプ



ロープ吊  
タイプ



## アタッチメント使用



ベルト吊  
タイプ



ロープ吊  
タイプ



# 安全防除について

ホクレン北見支所  
生産資材課

## 農薬使用者の安全性について

使用者は実際の散布などの処理に際し、消費者よりも高濃度の農薬に暴露される可能性が高いため、注意が必要です。

件数（人）

区分		28年度	29年度	30年度
死亡	散布中	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	誤用	0 (0)	1 (1)	4 (4)
中毒	散布中	9 (13)	10 (22)	12 (23)
	誤用	10 (10)	10 (15)	9 (15)
計		19 (23)	21 (38)	25 (42)

農水省HPより

## 農薬事故の原因について

農薬事故は**使用者の不注意**によるものが多い

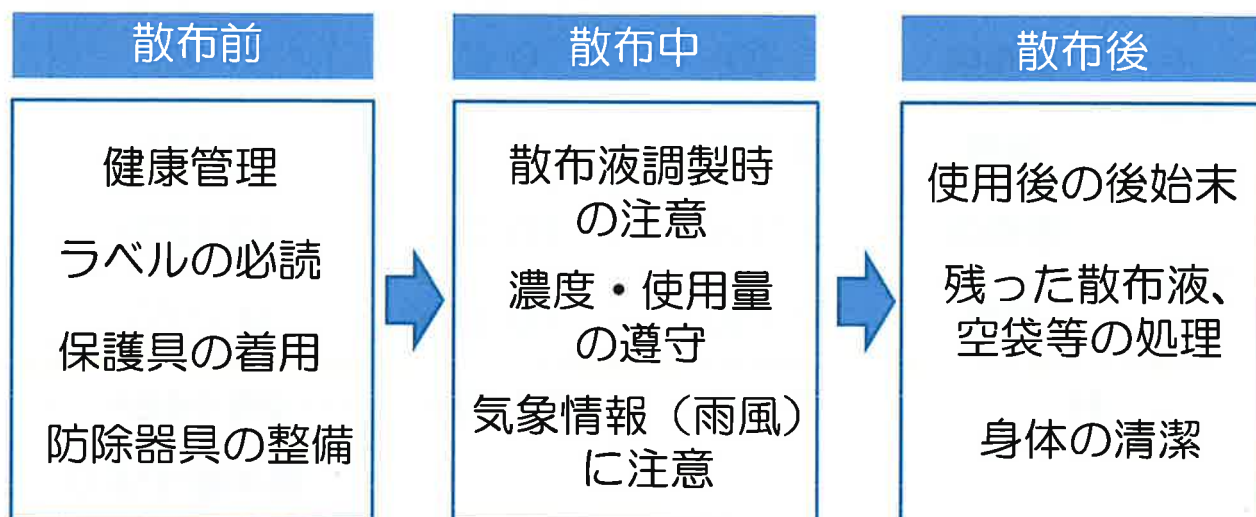
農薬事故件数

件数（人）

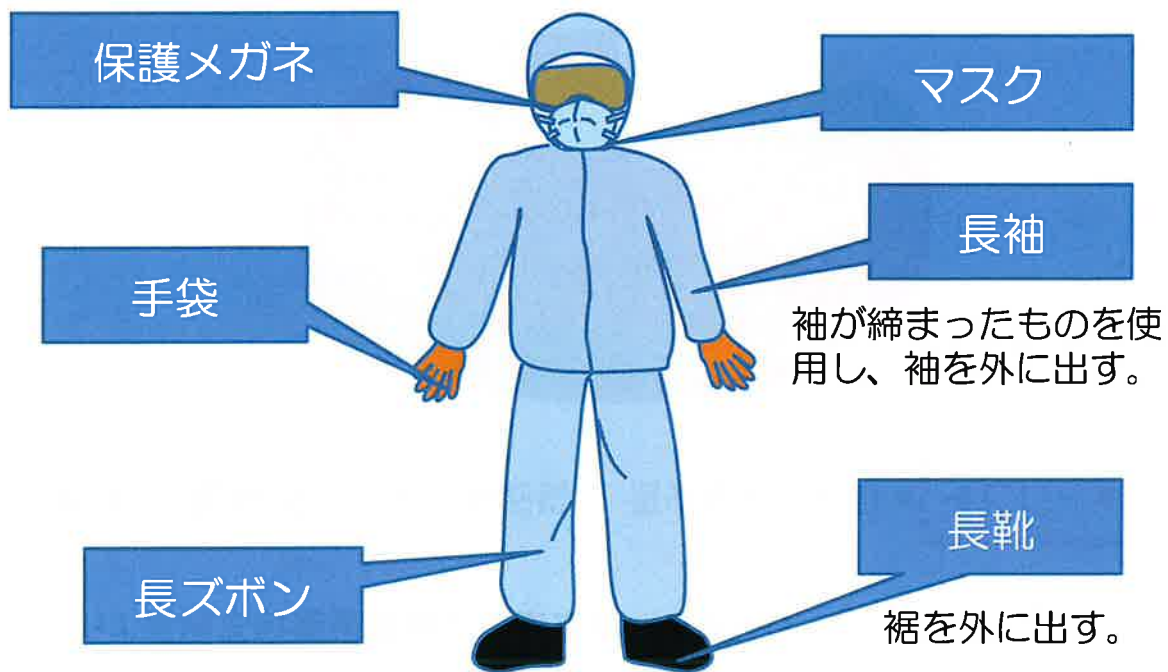
原因	28年度	29年度	30年度
マスク、メガネ、服装等装備不十分	3 (3)	6 (6)	6 (7)
使用時に注意を怠ったため本人が暴露	2 (2)	1 (1)	1 (1)
防除機の故障、操作ミスによるもの	0 (0)	1 (1)	0 (0)
散布農薬の飛散によるもの	1 (1)	2 (8)	1 (1)
農薬使用後の作業管理不良	3 (7)	1 (7)	4 (14)
保管管理不良、泥酔等による誤飲誤食	7 (7)	6 (11)	3 (3)
薬液運搬中の容器破損、転倒等	0 (0)	0 (0)	1 (5)
その他	1 (1)	2 (2)	2 (4)
原因不明	2 (2)	2 (2)	7 (7)
計	19 (23)	21 (38)	25 (42)

## 農薬事故を防ぐためには

- 1 農薬の性状（特に毒性）を正しく理解
- 2 「使用時の健康管理」、「ラベルの必読」  
「保護具の装備」などを的確に実行



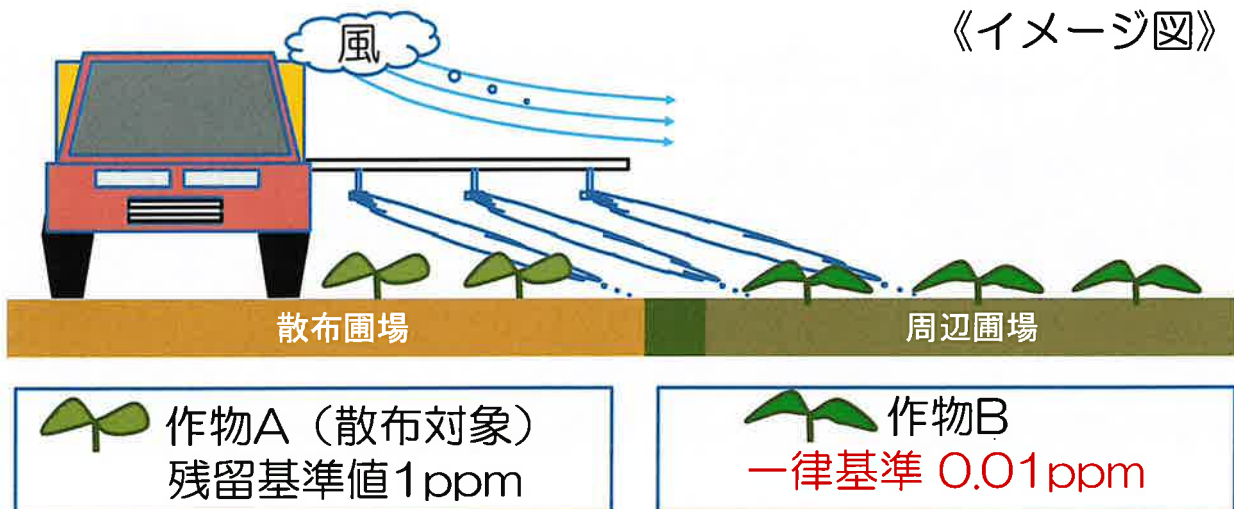
## 農薬散布時の基本スタイル



## ドリフトによる基準値超過リスク

**ドリフト**とは散布した薬液が風などによって飛ばされて散布対象作物の周辺まで拡散してしまう現象です。

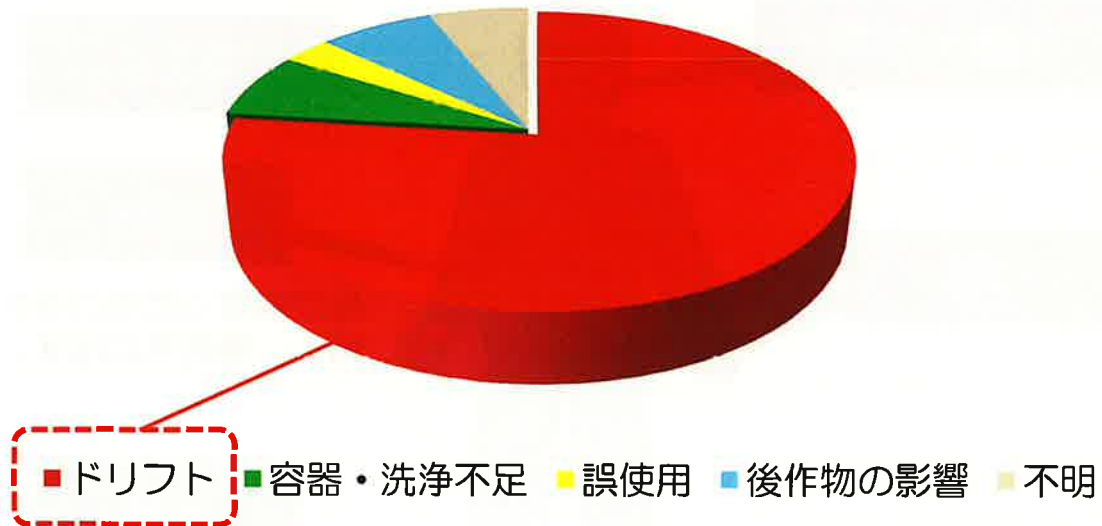
《イメージ図》



作物Aは1ppmまで残留しても問題ないが、作物Bの基準は0.01ppmであり、ドリフトにより基準値超過の恐れがある。



## 作物に適用外農薬が検出された事例の主な原因



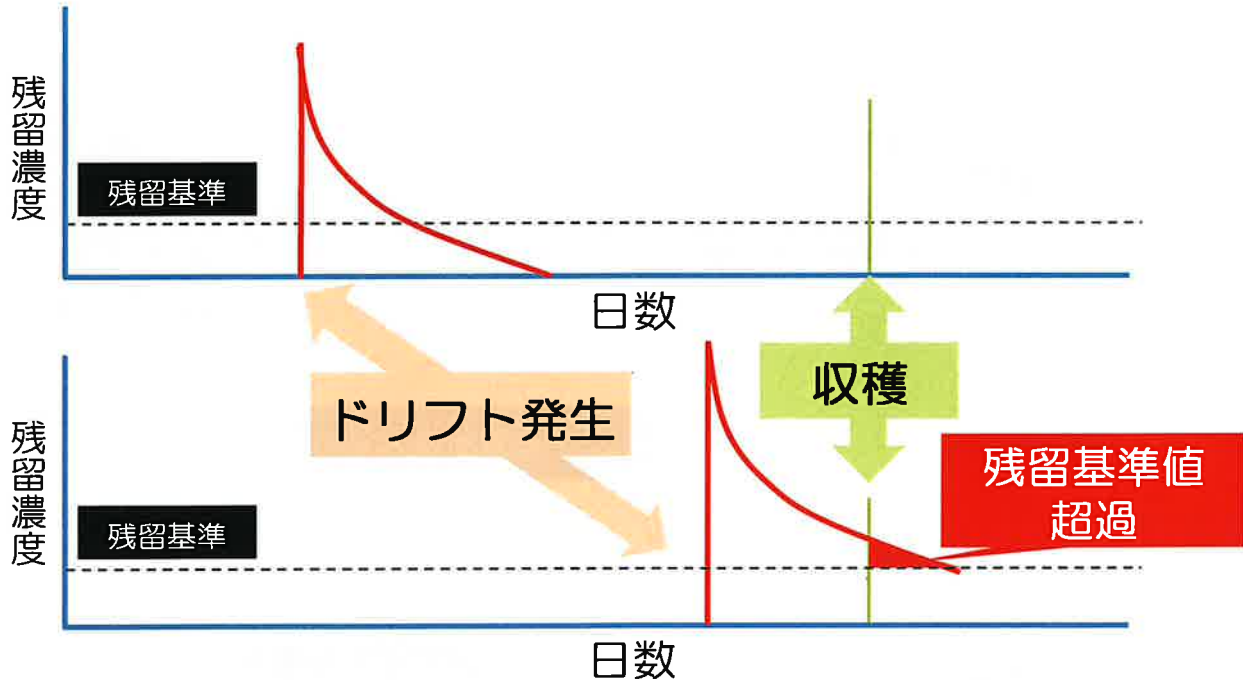
(平成20～23年度本会残留農薬検査結果より)

## 作物の境界線は注意が必要！



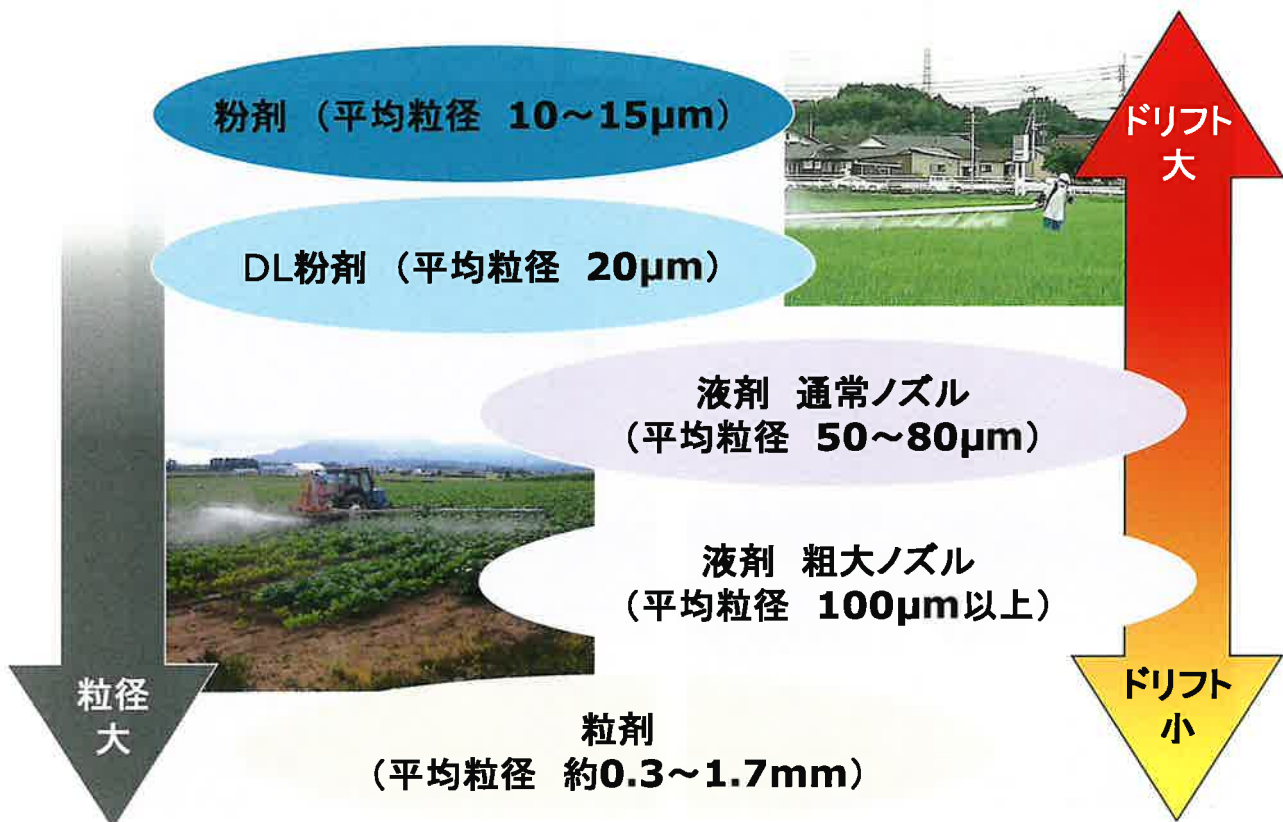
この場合、にんじん圃場に散布中の農薬がキャベツ圃場に飛散しないよう注意して散布する必要がある。

# 収穫直前は特に注意が必要！



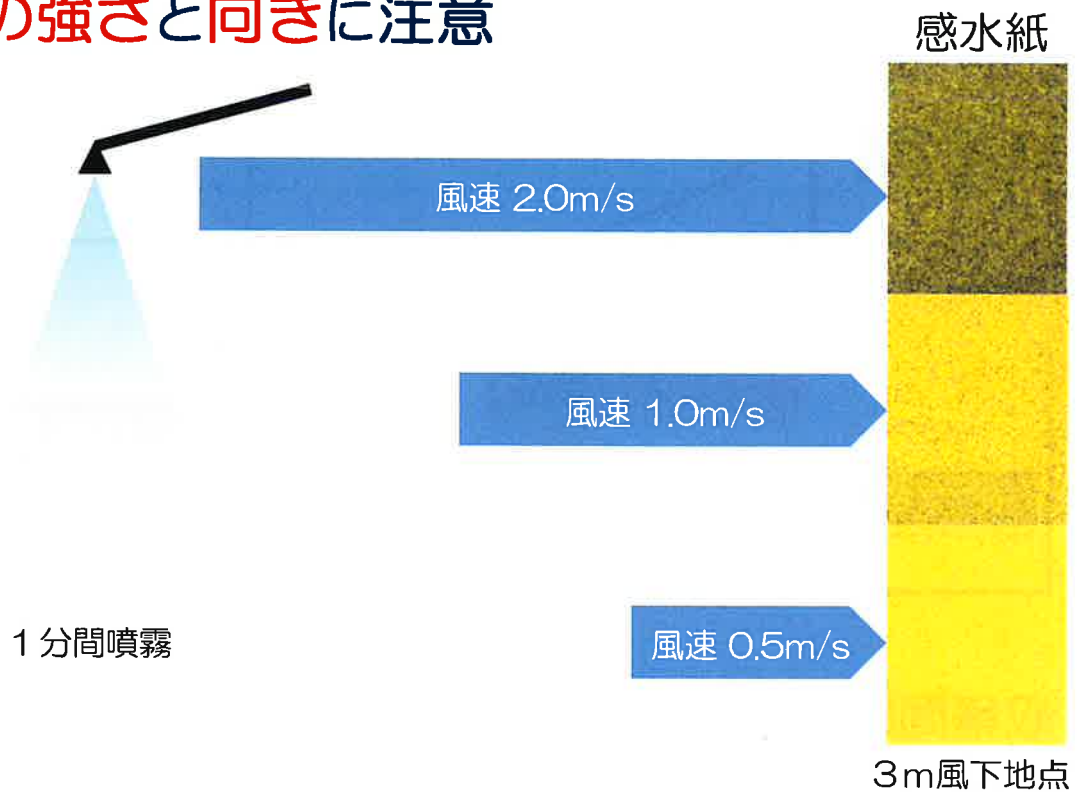
収穫間際には、わずかな飛散でも問題を生じる。

# 平均粒径とドリフトの危険性



# ドリフトを防止するために

## 風の強さと向きに注意



# ドリフト低減ノズルの効果



## スプレーヤータンクの洗浄

タンクのドレンから確実に  
残液を排出する

ホースを用い流水でタンク  
内壁をよく洗う

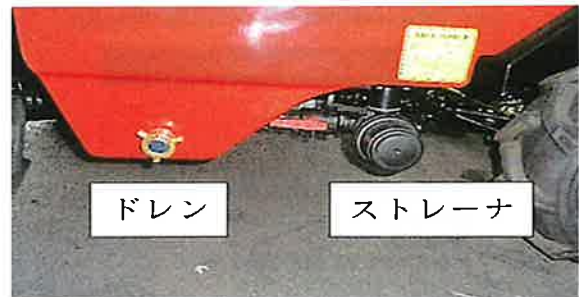
タンク内に十分量の水を  
ためポンプを作動させ  
ノズル部から噴霧排出

残液はドレンから排出

可能であればもう一度



ストレーナや  
ドレンコック  
を洗浄



ノズルは数が多いので  
外部からも流水で洗浄  
目づまり汚れ除去

## その他対策について

- 農薬の使用基準（ラベル内容）の遵守
- 隣接する生産者とコミュニケーションを取る  
（収穫予定日の確認等）
- 散布農薬の見直しや、遮蔽作物やネット等の設置

遮蔽作物設置の例



# 注意喚起チラシについて

ホクレンでは、ドリフト低減啓発チラシを作成しています。

安全・安心な農産物の生産に向けて

農薬を散布する際には、「飛散(ドリフト)防止」と「適正な使用・管理」に心がけ、農薬による事故がないよう取り組みましょう。

農薬使用におけるポイント

**使用前**

- 農薬ラベルを確認する
- タンク内残液など散布器具類を点検する
- 事前に防除するほ場周辺の状況を確認する

**使用中**

- 農薬の使用方法を守り適切に使う
- 正しい散布操作に心がける
- 周辺への農薬の飛散を防止する

**使用后**

- 散布器具類を丁寧に洗浄する
- 農薬は適正に保管する
- 散布履歴を都度記録する

詳細は裏面をご覧ください




詳細は裏面をご覧ください



## 基本を守って適正防除に努めましょう!!

### 使用方法の遵守

- ラベルにある作物以外には使用しない。
  - 使用量・希釈倍率、使用時期、収穫前日数は必ず守る。
  - 農薬の有効成分ごとの散布回数を超えない。
  - 感症有効成分を有した農薬は使用しない。
- 誤用しないよう必ずラベルをチェック!
- 

### 飛散(ドリフト)の防止

- 高向きに注意し、風の強いときに散らす。
- 周辺に収穫期近の作物がある場合、特に注意する。
- できるだけ作物の近くから散布する。
- 適切なノズルを選び、適切な圧力で散布する。
- 近隣の生草と対応せよや農薬飛散のスケジュールについて情報交換を行う。



### 散布器具の洗浄

- タンク内だけでなく、ブームやノズル、もしっかりと洗浄する。
- 農薬が乾いたら必ず水で洗い流す。



### 間接的な付着の防止

- 洗浄作業時に使用した水筒・用具類は、収穫の際には使用しない。
- 農薬に付いた手や衣服で収穫物を扱わない。

### 育苗ハウスでの注意

- 後作物の栽培予定のハウスで農薬を使用する場合は、ハウス外で処理する。
- 前作時にハウス内で処理した場合は、後作物の転播を避ける。



### 散布履歴の記憶・農薬の適切な保管管理

- 散布日、農薬名、散布量(使用量・希釈倍率)は必ず前記記録する。
- 農薬使用の履歴帳簿で管理し、必ず貼付する。



# 農業機械のオイル交換について

ホクレン北見支所 農機燃料自動車課

## 1. 農業機械の点検

### 作業前の点検が重要！

作業繁忙期前の点検を行うことで、事故防止や機械が長持ちすることでコスト低減にも繋がります。

例えば、1台のトラクターにおいても様々な点検箇所があり、チェックする項目も変わってきます。その箇所に必要なオイルの種類も変わります。

油圧装置

トランスミッション  
湿式クラッチ



ディスクブレーキ

デファレンシャル

## 2. ホクレンのオイル

組合員のみならずさまざまなニーズにお応えするオリジナルブランドオイルを各種用意しています。営農用オイル「アグリプロシリーズ」は、北海道の寒暖の差や大型トラクターの過酷な使用条件に対応し、農業機械の性能を最大限に発揮できるように設計された北海道農業仕様のオイルです。ディーゼルエンジンオイルをはじめ、トラクターオイル、ギヤオイル、油圧作動油、グリースなどをラインアップし、幅広い機種に対応しています。

### =潤滑油取り扱いにおける課題=

- 農業機械・自動車の高性能化
- オイルの多様化
- オイル交換作業の高度化

○高性能化に対応したオイル開発の継続

○とりまとめ販売とオイルガイド配布の継続

○オイル講習会の実施（JA向け・組合員様向け）



### ■アグリプロシリーズ(営農用)



## 2. ホクレンのオイル

【ディーゼルオイル】  
ディーゼルオイルのおすすめ

### 最新の世界主要3大規格を取得!

API CK-4	国内製・海外製問わず、
JASO DH-2	最新のトラクターや大型
Volvo VDS-4.5	トラックにも使用可能です。

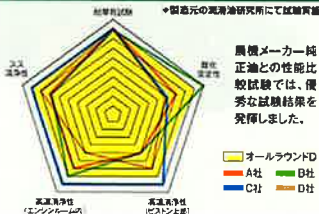
### 優れた高温清浄性・酸化安定性!

従来品と比べ、ピストンリングのススやスラッジの堆積を防止、エンジン内をきれいに保つことができます。

### 在庫管理の負担を軽減!



### 農機メーカー純正油との比較試験結果



最新規格 **Grade UP**  
**API: CK-4** を取得して  
**新登場!**

**NEW**

HOKUREN AGRI-PRO ディーゼルエンジンオイル  
**オールラウンドD**

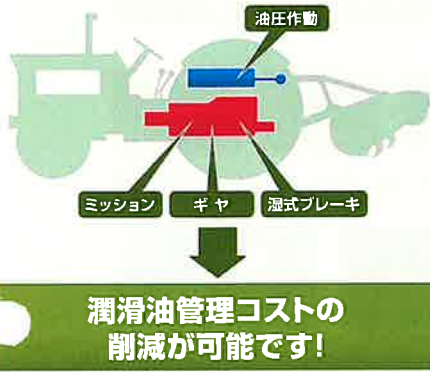
オールラウンドDがディーゼルエンジンオイルにおける最新の世界主要3大規格を取得し、グレードアップして新登場しました。

## 2. ホクレンのオイル

【トラクターオイル】  
トラクターオイルのおすすめ

### 4つの部位に使用が可能

※エンジンを除く



## スーパーマルチサービス

- オールシーズン性能を発揮  
品質と利便性に優れたトラクターオイル

スーパーマルチサービスは高度精製ベースオイルと厳選した添加剤を配合することで、メーカー純正法・指定法に匹敵する性能を有します。そのため、今まで複数の潤滑法を使用していたお客様も法種統合が可能になり、富農における効率的な潤滑法管理を実現します。



- 優れた低温始動性を発揮

北海道農業にターゲットを絞り製造していることから、メーカー純正法・指定法と比べても優れた低温始動性を有します。

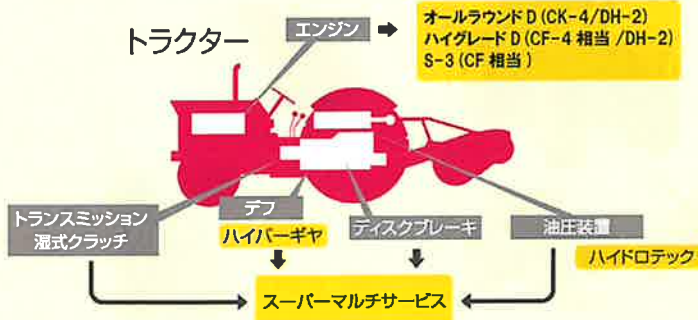
● 使用可能外気温 -35℃まで (流動点 -45.0℃)

- 油種統合による使用油種の削減
- 在庫スペースの削減
- 誤給油リスクの削減

## 2. ホクレンのオイル

【適合オイルについて】

### トラクターのオイル交換箇所と適合オイルの例



交換箇所は一例です。詳しくは各農業機械の取り扱い説明書を確認の上作業をおこなってください。

カートリッジ グリースNEOと従来品の比較

項目/製品名	ホクレンカートリッジグリースMP	ホクレンカートリッジグリースMO	ホクレンカートリッジグリースNEO
耐腐蝕性	○	○	○
耐水性	○	○	○
低温流動性	○	○	○
防錆性	○	○	○
付着性	○	○	○

### ホクレンカートリッジグリースNEOの特徴

01 従来のMPとMOの使い分けが不要!

従来、使用箇所によって汎用品であるホクレンカートリッジグリースMPと、耐腐蝕性(荷重への強さ)に優れたホクレンカートリッジグリースMOを使い分けていたという方は使い分けの必要がなくなり、作業現場に楽がります。さらに、二酸化モリブデンを添加していないのでグリースの色が薄く、衣服の汚れを抑えます。

02 ホクレンカートリッジグリースMP・MOの「良いと悪い」

従来のホクレンカートリッジグリースMP・MOの特徴を併せ持つ新商品、耐腐蝕性(荷重への強さ)や低温流動性(低温時の柔らかさ)を維持しながらも、耐水性(水分への強さ)を向上させたことで、富農のあらゆるシーンでさらに安心してご使用いただけます。

耐腐蝕性維持 + 低温流動性維持 + 耐水性向上



## 2. ホクレンのオイル

【潤滑油】  
ホクレンブランドオイル

農機メーカー純正  
オイルに劣らない性能！  
さらに  
低価格！



### エンジンオイルの基礎知識〈開発から製造・保管・出荷まで〉

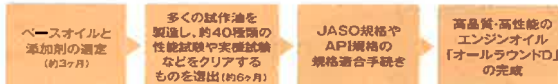
エンジンオイルは、  
オイルの元となる  
「ベースオイル」と、  
オイルの性能を決める  
「添加剤」からで  
ています。



#### ◆ エンジンオイルの役割

潤滑 密封 冷却 洗浄 防錆

#### ◆ 開発 例：オールラウンド



#### ◆ 製造・保管・出荷

ホクレンオイルの製造は、ベースオイルと添加剤の適合から品質検査、容器への充填までをコンピュータ制御された製造依頼先の工場で行われます。充填されたオイルは、ホクレン苫小牧石油貯蔵施設内の専用倉庫に保管され、全道のJAへ出荷されます。



ご清聴ありがとうございました。

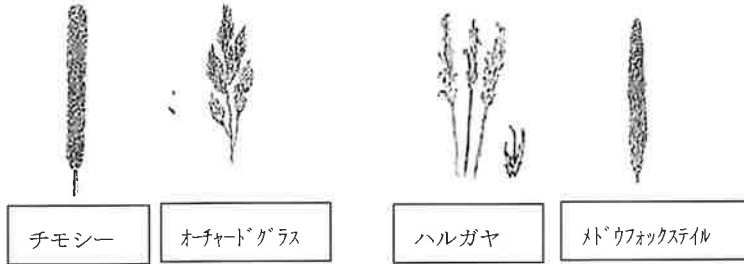


ホクレン北見支所 農機燃料自動車課

# 1 番草収穫とサイレージ調製のポイント

## 1. 雑草が多いほ場は早めに収穫しましょう

- 雑草種子の結実前に収穫しましょう。
- 近年は、メドウフォックステイルやハルガヤなどの強害雑草が散見されます。



## 2. 刈取高を 10 cm程度に高めに設定しましょう

- 土砂の混入を防止し、サイレージの良質な発酵を促します。
- チモシーの損耗や裸地を防止し、草地の荒廃を抑えます。
- 地面を擦らずに刈取り出来るため、刃の損耗を防止できます。

## 3. サイレージ調製前の準備を確認しましょう

- バンカーサイロや収穫機械は事前に清掃する。
- 収穫機械の点検整備（グリス・オイル等）や刃の研磨を行う。

## 4. 踏圧は基本に忠実に行いましょう

- しっかり踏む（ダンプ 1 台（10 m<sup>3</sup>）につき 5 分以上目安）
- 薄く踏む（30 cm程を目標に踏む）
- 傾斜を緩くする（傾斜角を 22 度以下とする）

## 5. 空気の遮断を心がけましょう

- 原料草詰込後は早期密閉を徹底しましょう。
- 原料草表面とシートとの間の空気を極力排除が重要。

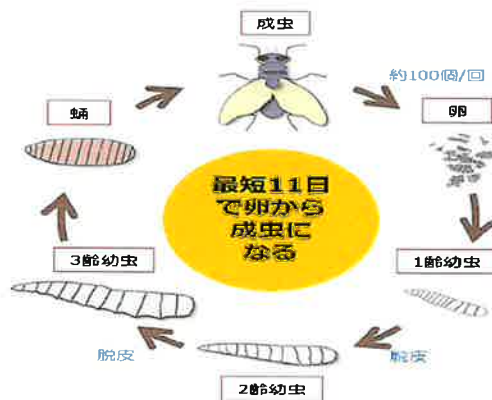
## 6. サイロストップの活用

- 高機密性サイレージ用シート
- サイレージの表層に密着して隙間を作らず酸素の侵入を防ぎます
- 発酵ロス、廃棄ロス、二次発酵を軽減が期待できます。



# 今から始める「ハエ対策」

イエバエのライフサイクル（サシバエもほぼ同じ）



卵	：	0.5日
1齢幼虫	：	1日
2齢幼虫	：	1日
3齢幼虫	：	3~8日
蛹	：	4~11日
成虫	：	約1ヶ月

イエバエ・サシバエ共に  
約2週間が成虫になるまでのサイクル

## ハエの基本的な対策方法



ハエが出始めたら…



噴霧殺虫剤・ベイト剤で **成虫** を叩く  
IGR製剤を発生源に散布し **幼虫** を叩く  
必要があればその他の資材も活用



成虫は幼虫の元  
(1ペアから数百匹に)  
よって  
双方の対策が重要

**現在、特別推進を実施中！**  
**(2022年8月末出荷分まで)**

- ①幼虫対策に…「ネポレックス」「シロマジン」
- ②成虫対策に（噴霧）…「動物用金鳥 ETB 乳剤」
- ③成虫対策に（ベイト剤）…「フラッシュベイト」
- ④ハエ取シートなどもご用意してます！

お問い合わせは、JA・ホクレンまでお願いします

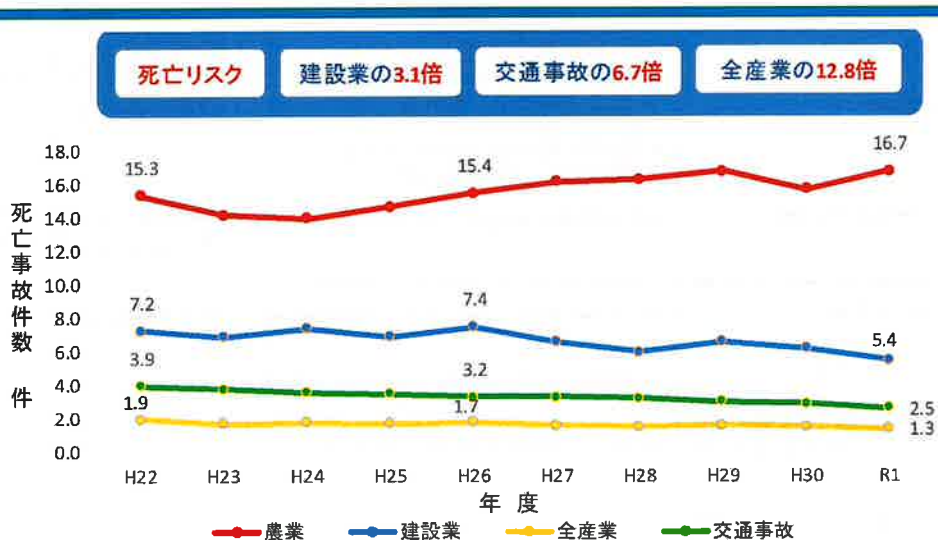
# JAきたみらい青年部意見交換会 (オホーツク農作業安全)

1. 農作業事故の現状について
2. オホーツク地区農作業安全の取り組み
3. 農作業事故の事例
4. あなたの農場は大丈夫?!

## 1. 農作業事故の現状について

抜粋：北海道農作業安全推進本部作成  
「農作業事故ゼロ運動推進研修会資料」

### 10万人当り死亡事故件数の推移



資料：死亡事故件数と人口から算出。

死亡事故件数は、農林水産省生産局、警察庁交通局、厚生労働省安全課調べ。

総人口及び労働者数は、農林水産省統計部「農業構造動態調査」の農業就業人口、総務省統計局調べ。

## 農作業事故が減少しない背景

区分	労働災害	農作業事故
労働形態	雇用労働	個人・家族労働
法規制	労働安全衛生法 労働安全衛生規則	労働安全衛生法 ⇒ 適用されない 労働安全衛生規則
事故原因	事業主責任	自己責任(個人の不注意)
報告義務	ある	ない
安全管理上の指導を受ける義務	ある ⇒ 安全確保が十分 的確な対策の情報も豊富	ない ⇒ 安全確保が不十分 的確な対策の情報が不足
ヒヤリハット	収集されている	収集されていない
事故情報	共有化されている	共有化されていない ⇒ 十分把握されない
原因説明	調査、検証、分析	実態不明 ⇒ 原因が説明されない
予防対策	取りやすい	的確な対策が取れない
死亡事故	防ぐことができる	ヒヤとした瞬間に事故 事故を起こした途端に死亡事故
安全管理体制	徹底されている 1本質的対策 危険な作業の廃止、変更 危険性や有害性の低い材料に変更 2工学的対策 ガード、安全装置、局所排気装置 3管理的対策 マニュアル整備、立入禁止措置、教育訓練	徹底されていない

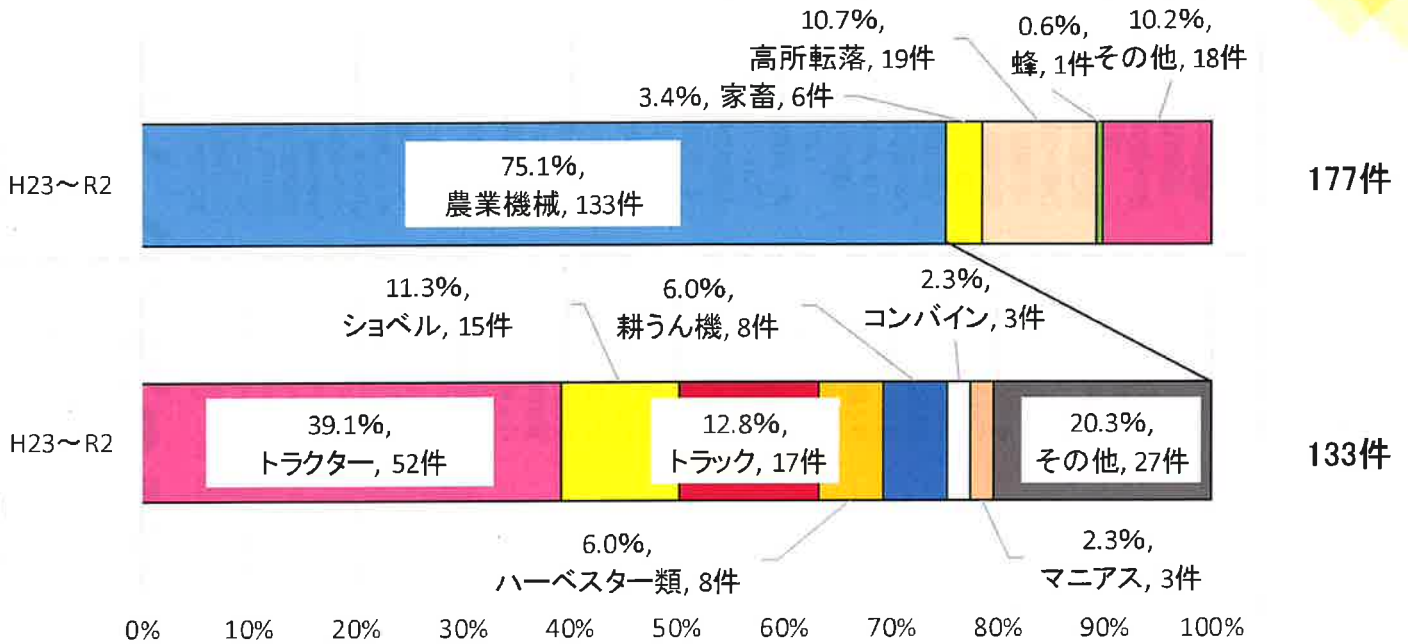
## 作業環境の違い

区分	他産業	農作業	
		水田・畑作	酪農
作業条件	同一条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>天候に左右される</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年は晴れ、今年は雨が多い</li> <li>・ 生育が早まる、遅れる</li> </ul> </li> <li>○ <b>作物、機械の種類が多い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械化の依存度が高い</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>条件は毎日変化する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 牛には1頭ごとに性格がある</li> <li>・ 行動が異なる</li> </ul> </li> </ul>
作業内容	同一作業の繰り返し	同一作業の繰り返しが少ない	健康状態やストレスの状態で作業内容が常に変化する
役割分担	資格や能力に応じて作業分担ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>高齢者が1人で作業する傾向</b></li> <li>○ 代りの者がいないため、あれもこれも1人で背負い込む</li> </ul>	
組作業・補助作業	2人以上で作業ができる	○ 補助が必要な場面でも、1人で作業する	
作業手順	各人の経験や技量に基づき、合理的な作業手順を集団で確認できる	○ <b>自分や家族の経験や都合で決める</b>	
事故発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ場面で、同じ事故が発生する確率が高い</li> <li>○ 対策が取りやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ場面で、同じような事故が発生する確率が低い</li> <li>○ 「一度限り」的に事故が発生するため、共通的な対策が取りにくい</li> </ul>	

※土木作業は農作業と類似するが、厳格な法規制の適用を受ける。

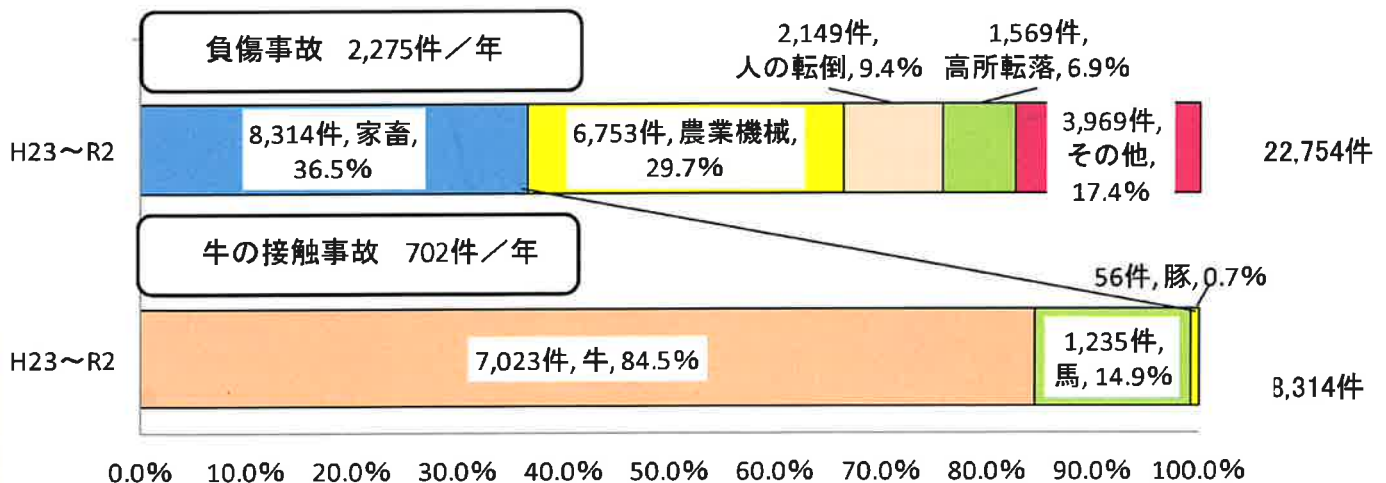
## 死亡事故の発生状況

抜粋：北海道農作業安全推進本部作成  
「農作業事故ゼロ運動推進研修会資料」



抜粋：北海道農作業安全推進本部作成  
「農作業事故ゼロ運動推進研修会資料」

## 負傷事故の発生状況



# 20年農作業事故死者270人

# 10万人当たり最多

農水省は15日、2020年に発生した農作業事故で亡くなった人が、前年より11人少ない270人になったと発表した。1971年の調査開始以降で最少だが、農作業従事者10万人当たりでは前年より0.6人増えて10.8人となり、過去最多を更新した。依然として、全産業平均の同1.2人を大きく上回る状況が続いている。

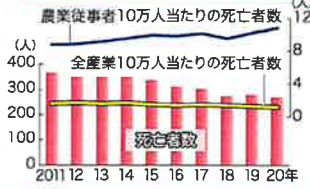
▼3面に県別死亡者数

事故の区分別では、農機作業が186人で69%を占める。このうち乗用型トラクターの事故による死者が最多の81人で、前年より1人増えた。乗用型トラクターの事故発生原因は、圃場(ほじょう)や道路からの転落・転倒が大半だった。

熱中症が同3人増の32人、歩行型トラクターが同4人増の26人で続いた。年齢別では、65歳以上が同19人減の229人で、全体の85%を占める。39歳以下の若年者も同8人増の11人で、12年以來の高い水準となった。

農作業従事者10万人当たりの事故死者数は、11年より2.1人増えた。危険性が高いとされる建設業の20年の事故死者数は10万人当たり5.2人で、同1.6人減。同省は安全性が高い機械の導入進展などが要因とみる。

農作業死亡事故発生状況の推移



農作業死亡事故の主な原因

乗用型トラクター	81人
熱中症	32人
歩行型トラクター	26人
農用運搬車	15人
圃場、道路からの転落	13人

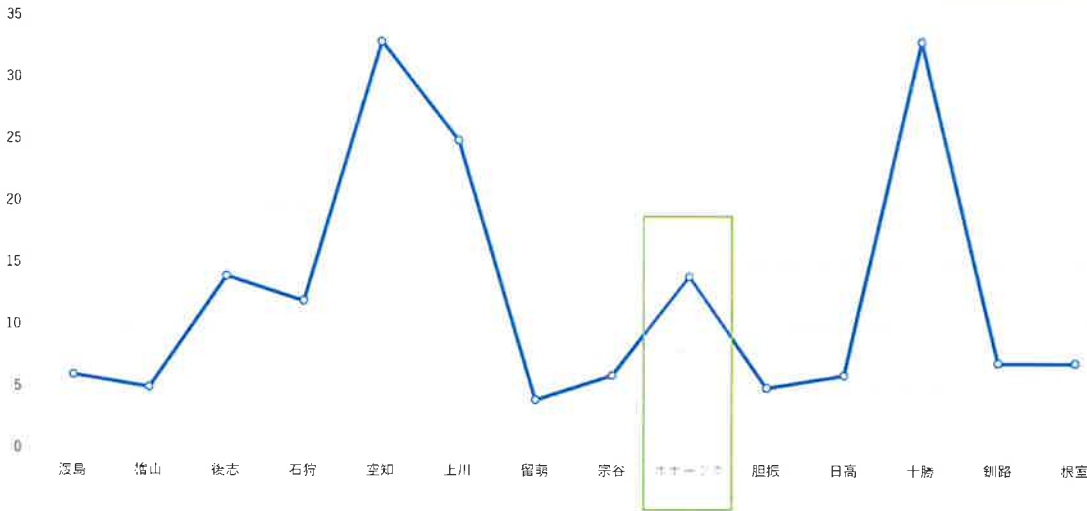
農業でも安全キャブ・フレームを備えた乗用型トラクターなどは増えている。それでも事故死者数が減らないことについて、同省は「事故に遭いやすい高齢者ほど、農機の更新が進んでいないからではないか」(技術普及課)とみる。

同省は20年2月に、農機作業事故に限った22年の死者数を17年の211人から半減させる目標を発表し、事故削減に取り組んでいる。今回はその初年度の事故死者数の発表となったが、大きく減らせなかった。同省は今後、シートベルト・ヘルメットの着用などを呼び掛ける。事故死者数は、厚生労働省の人口動態調査を使ってまとめた。農水省は、20年から毎月の速報値を発表しているが、都道府県や農機メーカーなどからの聞き取りに基づくため死者数が異なる。

2022年2月16日(水) 日本農業新聞

死亡者数

抜粋：北海道農作業安全推進本部作成「農作業事故ゼロ運動推進研修会資料」



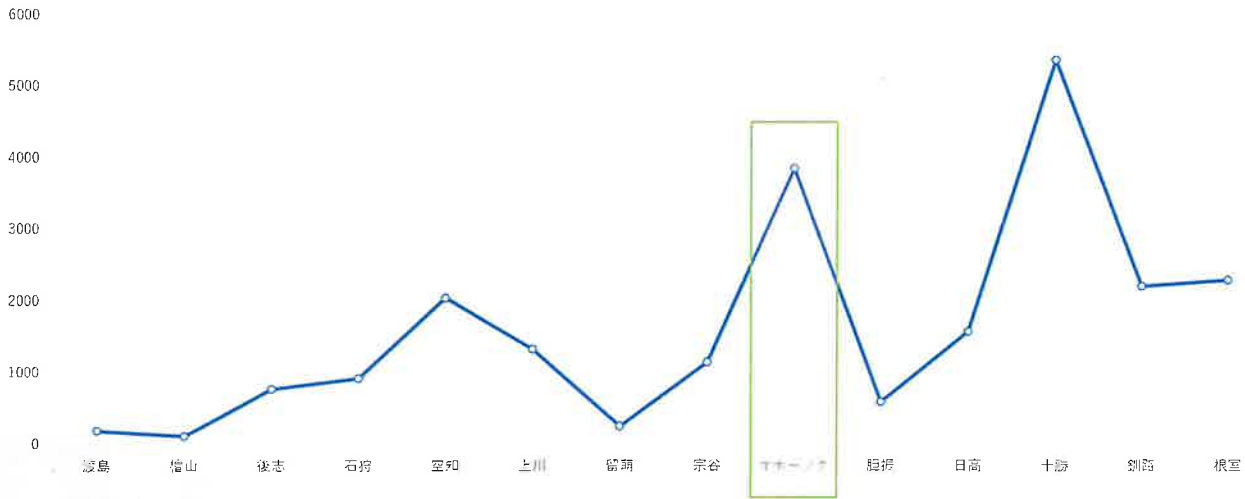
○ 死亡者数(H23~R2)

単位:人

振興局	渡島	檜山	後志	石狩	空知	上川	留萌	宗谷	林-つ	胆振	日高	十勝	釧路	根室	合計
死亡者数	6	5	14	12	33	25	4	6	14	5	6	33	7	7	177
	3.4%	2.8%	7.9%	6.8%	18.6%	14.1%	2.3%	3.4%	7.9%	2.8%	3.4%	18.6%	4.0%	4.0%	100.0%

負傷者数

抜粋：北海道農作業安全推進本部作成  
「農作業事故ゼロ運動推進研修会資料」



○ 負傷者数 (H23~R2)

単位：人

振興局	渡島	檜山	後志	石狩	空知	上川	留萌	宗谷	林-ツ	胆振	日高	十勝	釧路	根室	合計
負傷者数	201	124	779	929	2,052	1,336	261	1,154	3,852	601	1,583	5,372	2,215	2,295	22,754
	0.9%	0.5%	3.4%	4.1%	9.0%	5.9%	1.2%	5.1%	16.9%	2.6%	7.0%	23.6%	9.7%	10.1%	100.0%

## 2. オホーツク地区農作業安全の取り組み (オホーツク地区農作業安全運動推進本部)

令和2年

### 「農作業事故ゼロ推進キャンペーン」

- ◆ 令和2~4年度の3カ年を「農作業事故ゼロ推進キャンペーン」と位置付け、管内各産地（JA）で積極的な啓発活動を実施することとする。
- ◆ 年度ごとの計画検討・結果検証を行い、3年後の『生産者自らが農作業安全について考え、声を上げ、意識を持って取り組む』姿を目指す。

### 「オホーツク農作業安全フォーラム」

- ◆ 取組みをスタートさせるキックオフ的位置付けとして、令和2年の3月下旬に「オホーツク農作業安全フォーラム」を開催、今後の地区での取組みを告知するとともに、決意表明を行う。

▶▶▶ コロナ禍により3月のフォーラム開催は延期 → 8月下旬に規模縮小し開催



## R2. 8/26-27 「オホーツク農作業安全フォーラム」開催！

オホーツク地区が一丸となって、農作業安全に対する意識を高め、この地区から農作業事故を無くし、安全で安心できる農業を実現するため、次のとおり宣言します。

- 一、私たちは、日々の農作業の中に事故の危険性があることを理解し、日頃より事故防止を意識した農場づくりに努めます。
- 一、私たちは、事故を未然に防ぐため、農作業をするときは、安全確認を徹底します。
- 一、私たちは、自分だけでなく、家族や従業員の農作業事故を無くすため、農作業安全に向けた呼びかけ、農作業時の声かけを行います。
- 一、私たちは、オホーツクの農業を担う一員として、農作業安全に対する意識を強く持ち続け、農作業事故ゼロを目指します。

- ◆ 紋別市会場（8/26）、網走市会場（8/27）で開催、約130名を参集。



拍手により採択

## 2. オホーツク地区農作業安全の取り組み (オホーツク地区農作業安全運動推進本部)

令和3年

### 「ラジオCMを活用し呼びかけ」

- ◆ 令和3年度はオホーツク管内全14農協の職員44名が農作業事故防止への思いを込めた言葉を「ラジオCMを活用し呼びかけ」を7月～10月毎日行った。
- ◆ 8月以降は、青年部・女性部の役員などがラジオ番組に出演し、作業でのヒヤリ・ハッと体験や、日頃気を付けていることなどを話している。



# 啓発資材

「命を守る農業経営はすべてに最優先！  
～農作業安全にGAPを取り入れよう～」

「家畜労働安全のすすめ」

「オホーツク農作業事故ゼロ宣言」

「家畜管理時の農作業事故は自身で防ごう！～現状と対策～」

農業は命を守る経営はすべてに最優先！  
～農作業安全にGAPを取り入れよう～

農作業事故は、被害を受けた人が大きな被害を受けるとともに、その後の農業経営にとって大きな影響を及ぼします。発生した被害と被害の予防を目的に、GAP（農業生産工程管理）を取り入れた農作業安全に取り組ましましょう。

～農作業安全の現状と対策～

農作業安全の現状と対策に関するグラフや図表が掲載されています。

家畜労働安全のすすめ

そもそも、人はいつ失敗するのか？

出来がちなミスで、事故を防ぐ。アゲタコに見る、農作業事故の姿。

家畜労働安全の最前線を巡る一現場レポート

対策を知り、対策する

安全を購入する

オホーツク農作業事故ゼロ宣言

オホーツク地区では、令和2～4年度の3ヶ年を「農作業事故ゼロ推進キャンペーン」とし、農業者と関係者、関係機関が一体となって、農作業事故の発生をゼロにするための取り組みを行います。

私たちの農作業安全行動が、農業者の安全の一歩となる

私たちは、日々の農作業の安全確保の重要性を認識し、日頃より事故防止を意識し、安全対策を講じます。

私たちは、事故を未然に防ぐため、自分自身だけでなく、家族や関係者の農作業安全を考えたため、農作業安全に向けた呼びかけ、農作業事故ゼロを目標とします。

私たちは、オホーツクの農業者を一人として、農作業安全に対する意識を高め、農作業事故ゼロを目指します。

家畜管理時の農作業事故は自身で防ごう！～現状と対策～

農業者は危険な作業を自ら行っているのか？

家畜管理時の農作業事故は、農業者自身が行っている作業によるものが多く、自身で防ごうとする必要があります。

家畜管理時の農作業事故の発生状況に関するグラフや図表が掲載されています。

管内では約7戸に1人がケガしており、返価割合も高い！

ケガをしてから、対策を講じている農業者はほとんどです！  
「事故は「防げる」という考えが大切なんです！  
「事故を防ぐ」気持ちで、出来ることから始めましょう！

携帯用カード  
「私の農作業安全宣言」

私の農作業安全宣言

STOP 農作業事故

確認！再確認！作業ルールを守りましょう

私の農作業安全宣言

私は、オホーツクの農業を担う一員として、農作業事故防止に努めます。

宣言日 令和2年 月 日 から1年間

氏名

QRコード

令和2年～3年

## 2. オホーツク地区農作業安全の取り組み (オホーツク地区農作業安全運動推進本部)

令和4年～

「生産者が自ら農作業安全について考え、声を上げ、意識を持って取り組む」

- ◆ 青年部員の皆様が農作業安全を積極的に考え、取り組むきっかけを作っていきたいと考えている。

### 「啓発資材の作成」

- ◆ 株式会社クボタ様がオホーツク地区農作業安全運動推進本部の取り組みを知り、啓発資材の作成に尽力いただいている。
- ◆ 啓発資材（ステッカー・ポスター・デジタルフレーム）の作成を進めている。
- ◆ 場面に応じた活用をお願いしたい。

◆ ステッカー→トラクターや作業機等に張り付ける。



◆ ポスター →自宅や事務所・倉庫や休憩室などに張り付ける。



## ◆ デジタルフレーム

(PC上のファイルとして)

→家族・地域・組織で思いを共有するため、自分の写真を入れて、コメントを記入する。

完成後、壁に掲示したり、広報誌に記載して活用する。

## 私、かける、シートベルト

トラクタ乗車時のシートベルトの着用は事故ゼロに向けた1丁目の1番地です。



× シートベルト = 家族の願い



× シートベルト = ずーっと農業



× シートベルト = 子供との約束



× シートベルト = 当り前の習慣



× シートベルト = オホーツクの常識

オホーツク地域では、農業に係わる全ての人が、自ら農作業安全について考え、声を上げ、意識を持って取り組む姿を目指します。



オホーツク  
農作業事故宣言

## 3. 農作業事故の事例

- 今回は改善策などは載せていません。
- 自ら考えてみてください

### 危険な考え方

「昔からやっていたから」「気を付ける」「根性」「慣れ」「気合」だけでは、改善策にはなりません。

☑ ほ場の進入・退出路がしっかりしている。

《事件事例》

ほ場退出、狭い退出路  
(重症)

畑の耕うんを終えて狭い傾斜のある道を退出中、左側前輪が路肩を踏み外し、2.7m下の畑にトラクターごと転落。骨盤粉碎骨折、内腸臍動脈断裂、入院3カ月。  
(平成22年4月11時頃、男性・54歳)



退出路の道幅が狭く、①の地点で左前輪がわずかに浮き上がり、路肩をはみ出し、そのまま、②の地点にトラクターもろとも転落、下敷きとなる。その後、トラクターは横に転がる。単独作業であったので、発見は1時間後。

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No. II) p47より

《なぜ》狭い農地を有効に利用するため、ほ場の進入・退出路は狭く、傾斜もきつくなりがちです。また、草が繁茂すると路肩がわかりにくく、さらに危険な状態になります。

☑ 通る坂道は、勾配が緩く、天候が悪くても、スリップすることなく安全に上下できる。

《事件事例》

狭い道、坂道、雨(重傷)

降雨後の狭い坂道を上る途中、スリップして転落しそうになったのでエンジンを止め、ロータリーに足をかけて崖側に退避しようとしたが、トラクターもろとも7m下に転落し、頸椎と肋骨を骨折。(平成24年5月17時頃、男性・79歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No. IV) p36より

《なぜ》狭く急な坂道は、劣化によって路肩が崩れていたり、草が生い茂って路肩が見えなかったり、雨でスリップしやすくなります。

- ☑ 安全キャブやフレーム付きのトラクターを使用している。

《事件事例》

安全キャブ・フレーム無し、  
片手運転(重傷)

安全キャブ・フレームが付いていないトラクターで、3.3m幅の農道を片手運転で走行中、操作を誤り、左側の用水路(幅145cm、深さ158cm)に転落。骨盤骨折、右大腿部にヒビ、右手中指挫傷。(平成25年4月 10時半頃、男性・57歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No. I )p53より

《なぜ》乗用トラクターは重心が高く、転倒しやすい機械です。大型化が進んでいるため、狭い農道や急な坂道での転倒の危険性は増しています。

- ☑ バックしたときに障害となる立木、格納庫の壁、ハウスの壁、崖などが無い。

《事件事例》

後退、障害物(重傷)

車軸耕うん機で耕うん中、バックの際、後ろの杭に足を取られ転倒。ロータリー部に両下肢が巻きこまれ、左大腿部刺創、右下肢開放損傷。(平成24年8月 12時50分、畑、男性・69歳)



耕耘中バックしたところ、後ろに鉄製の杭があり、足がひっかかり、転倒、回転する刃に両脚が巻き込まれた。大腿骨開放骨折、ドクターヘリで搬送。

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p55より

《なぜ》耕うん機は両手で操作するため、バックの時に後方の確認がおろそかになりがちです。

- ☑ 朝露や雨で作業面が濡れていると滑りやすくなるので作業しない。

《事件事例》

傾斜法面、雨(重傷)

雨上がりに3.2mある法面を、棹の長い刈払機で草刈り中、足が滑り法面を滑り落ち、回転している刃に足が落下、足の小指部分を切創。(平成21年8月14時頃、男性・60歳)

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.Ⅲ)p97より



《なぜ》草に覆われた斜面の地面は、見ただけではどうなっているか分かりません。また、水分を含んだ草はとても滑りやすくなっています。

- ☑ チップソーの刃には、JISマークの刻印してある商品を使っている。

《事件事例》

安い低品質の刈刃、  
防護具無し(失明)

刈り残した道路脇の草刈りで、短時間で終わると思い、ゴーグル無しで草刈りをした。右目にチップソーのチップが2個飛び込み、右目を失明。(平成21年6月10時半頃、男性・67歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.Ⅲ)p104より

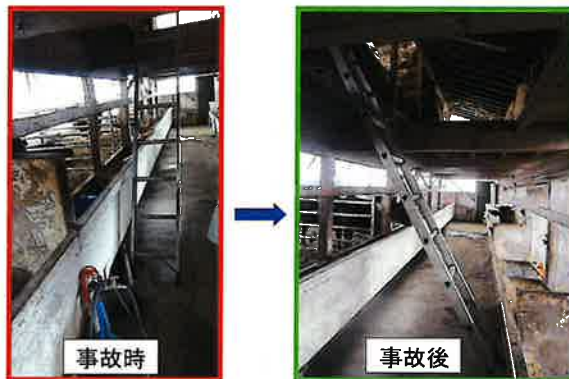
《なぜ》刈刃には、硬い石などに当たっても衝撃で欠けにくい性能が要求されます(防護具装備は必ず身に付けましょう)。

- ☑ ハシゴが滑らないよう、上端や下端が固定できる。
- ☑ ハシゴの底部は滑らない構造になっている。

《事件事例》

ハシゴの固定、滑り(打撲)

牛舎の2階に糞を上げる作業中、ハシゴを使って2階から降りようとしたときに、ハシゴが滑り臀部と左足を打撲。(平成25年11月 15時頃、女性・76歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.III)p177より

水道のすぐ近くで、床が濡れており滑りやすかった。事故後、右図のごとく、右壁面をストッパーとして動かないようにした。

《なぜ》床への接地部分、壁などへの立てかけ部分が滑らないことが重要です。

- ☑ 作業前後の詰まり除去を含む点検時は、必ずエンジンを切る。
- ☑ 駆動部分への注油はクラッチを切って行う。

《事件事例》

清掃整備、エンジン停止

(骨折、挫滅創)

コンバインのチェーンに給油するため、こぎ胴を開け、回転する糞搬送チェーンに右手で給油中、こぎ胴に左手の第2、3、4指が巻き込まれ、骨折、挫滅創。(平成23年10月上旬 8時半頃、男性63歳)



エンジンをかけたまま、こぎ胴を回転させたまま、右手に注油器を持って、糞搬送チェーンに注油。左手はこぎ胴の近くに置いていたが、注意が逸れ、こぎ胴に左手が巻き込まれ。左手第2～4指骨折・挫滅創。

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p121より

《なぜ》コンバインを故障なく使うためには、作業前後の清掃・整備が欠かせませんが、手順を順守した作業が重要です。



- コンバインを動かすときは、周囲に人がいないことを確認している。

### 《事件事例》

#### 補助者、確認(骨折)

麦刈り中、コンバインに詰まった草を取っていた人がコンバイン運転席からは死角となり見えず、作業が終了したと思い、発進して轢いてしまった。肋骨骨折。

(平成23年6月 14時頃、男性・72歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.III)p121より

《なぜ》コンバインには、運転席から多くの死角があるので、コンバインの特性を知った運転操作が必要です。

- 運転席から機械周辺の状況を確認できる。

### 《事件事例》

#### 後退、補助作業、確認(死亡)

ケーンハーベスターで、刈り取りを始めた畑の最初のところでバックしたとき、補助者がクローラに轢かれ、死亡。

(平成26年1月下旬 9時40分頃、男性・44歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p182より

《なぜ》大型機械では、運転席から目視で確認できる範囲が限られます。

- 機械の点検時や詰まりの除去時はエンジンを停止している。

### 《事故事例》

#### 異物除去、エンジン停止(重傷)

自走式ポテトハーベスタで収穫中、茎葉処理ローラの駆動チェーンに小石が噛みそうだったので、手で取ろうとしたところ、左手の指先がローラに巻き込まれ、指骨折。

(平成24年10月上旬 14時頃、男性・59歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p178より

《なぜ》大型の収穫機では、作業機に補助者が乗車して調製作業などを行うことがあり、補助者が作業を停止しにくい現状があります。

- 日頃から体調に気を使い、作業時は定期的に日陰で休んでいる。
- のどが渇いていなくても、定期的に水分を補給している。

### 《事故事例》

#### 夏場、ビニールハウス内(死亡)

①ビニールハウス内において、野菜のつる落としに従事していたが、13時過ぎに倒れているところを発見され、その後死亡。  
(平成22年7月 13時頃、60歳代)

②ビニールハウス内において、農薬散布に従事していたが、15時過ぎに倒れているところを発見され、その後死亡。  
(平成22年7月 15時頃、30歳代)

厚生労働省「熱中症による死亡災害発生状況(平成22年)より

《なぜ》暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症事故が多発しています。この時期には特に注意が必要です。

ホイールローダのバケットで、コンクリートたたきに溜まっていた水を押し出していたところ、段差にバケットが引っかかり、急停止した勢いでフロントガラスに頭をぶつけた。(40代前半 男性 頭部裂傷(2針)、指先裂傷、腰部打撲)

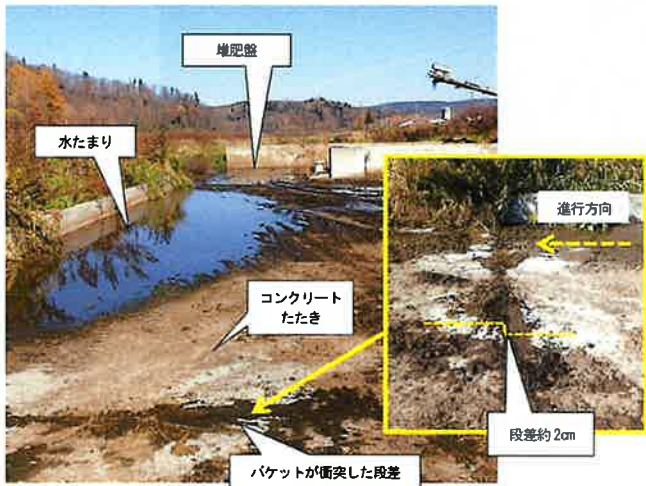


図1 事故現場



図2 事故機の類似機(後継機)の外観

トラクタでマニュアルスプレッダに堆肥を積み込み、前向きで降車しようとしたところ、足を滑らせ、手すりを握っていた右腕に全体重がかかり、衝撃で上腕骨を螺旋骨折した。(30代後半 男性 右上腕骨螺旋骨折)



図1 堆肥の積み込みに使用していたトラクタ



図2 被災者が乗降部から落下した際のイメージ (事故時は足が空中にあった)

ここに、硬貨が出てきます。  
消えるまでの間で数えてください。

**整理整頓**は、物事を瞬時に判断するために  
必要なことであり、**農作業安全**にもつながる。

## 4. あなたの農場・牧場は大丈夫？ ☆フリートーク☆

菅野が個人的  
に皆さんに伝  
えたいこと  
(まとめ...?)

**農作業安全は  
一丁目一番地**

- ☆人間は2つのことを同時にできない。  
⇒事前に計画を立てる。  
⇒事前に不安要素を取り除く。
- ☆何事にも「かも」しれないを心がける。
- ☆人や機械のケアは怠らない。
- ☆資材・機械は信頼のおけるものを用意する。
- ☆ヒヤリハットや事故の経験は改善・共有する。
- ☆家族の笑顔や幸せは何においても最優先。
- ☆農作業安全は誰でもできる。意識次第。

**生産者が自ら農作業安全について考え、農作業事故  
ゼロに向けて取り組んで欲しい。**